

2000年1月の東北地方の天候(速報)

【1月の特徴】

- 記録的な高温(上、中旬が中心)
- 東北日本海側の降雪量はやや少ない

(1)概況

上、中旬は、短い周期で気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置となる日は少なかった。東北日本海側では曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では天気は周期的に変化した。下旬は、冬型の気圧配置の日が多く、強い寒気が南下したため、東北日本海側では雪、東北太平洋側では晴れの日が多かった。

上、中旬の旬平均気温がかなり高くなり、下旬は寒気が入ったが平均気温は平年並にとどまったため、月平均気温は記録的な高温となり、新庄と仙台で極値を更新した。また、東北日本海側では降水が雨になる日が多かったため、降雪量は平年比58.3%とやや少なかった。

気温はかなり高い。降水量は東北北部でやや多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。東北日本海側の降雪量はやや少ない。

(2)天候経過

上旬： 短い周期で気圧の谷が通過し、気圧の谷の通過後は一時的に冬型の気圧配置となつたが長続きしなかった。低気圧が日本海から北日本を通過することが多く、東北日本海側では雪の日は少なく、雨の日が多かった。東北太平洋側では天気は周期的に変化した。

気温はかなり高い。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部でやや多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部でやや少ない。

中旬： 短い周期で気圧の谷が通過し、天気は周期的に変化したが、後半は弱い冬型の気圧配置になる日が多かった。このため、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。また、13、16日は日本の南岸を通る低気圧の影響で全般に雨または雪になった。

気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや少ない。

下旬： 23日に気圧の谷が通過し、29日に移動性の高気圧に覆われた他は、冬型の気圧配置となる日が多かった。このため東北日本海側では雪の日が続き、東北太平洋側ではおおむね晴れた。

気温は平年並。降水量は東北日本海側でやや多く、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側でやや少なく、東北太平洋側でやや多い。

(3)月統計値の極値・順位の更新(月平均気温、月降水量、月日照時間、月最深積雪の3位まで。但し白河の月降水量は統計期間が短いため、1位に該当した場合のみ示す。)

<月平均気温の高い値>

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|------|----|-----|----|-----|----|-----|
| 1位 | 新庄 | 0.5 | 仙台 | 3.6 | | | | | | |
| 2位 | 大船渡 | 2.5 | 若松 | 1.5 | 酒田 | 3.3 | 山形 | 1.5 | 石巻 | 2.5 |
| | | | 小名浜 | 5.7 | | | | | | |
| 3位 | 秋田 | 1.7 | 盛岡 | -0.3 | 福島 | 3.5 | 白河 | 2.3 | | |

<月降水量の多い値>

| | | |
|----|----|----------|
| 1位 | むつ | 220.5 mm |
| 2位 | 深浦 | 186.0 mm |
| 3位 | 新庄 | 224.5 mm |

<月日照時間の多い値>

| | | |
|----|----|-------|
| 3位 | 新庄 | 51.7h |
|----|----|-------|

本資料のデータは速報値です。確定値は16日に決定します。

本件に対する問い合わせ：仙台管区気象台技術部

気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

表1.月気候値表(2000年1月)

| 地 点 | 月平均気温(平年差) | | 月降水量(平年比) | | 月間日照時間(平年比) | | 月最深積雪 | | |
|-----|-------------------|-------|-----------|-------|-------------|---------|--------|----|-------|
| | 階級 | mm | % | 階級 | h | % | 階級 | cm | 階級 |
| 青森 | 0.3 (+2.1) かなり高い | 148.0 | (87) | 平年並 | 41.9 | (75) | やや少ない | 53 | やや少ない |
| 深浦 | 1.2 (+1.8) かなり高い | 186.0 | (172) | かなり多い | 20.0 | (63) | やや少ない | 33 | 平年並 |
| むつ | -0.1 (+1.8) かなり高い | 220.5 | (211) | かなり多い | 72.0 | (91) | 平年並 | 15 | --- |
| 八戸 | 0.4 (+1.8) かなり高い | 71.0 | (114) | 平年並 | 105.4 | (76) | かなり少ない | 13 | 平年並 |
| 秋田 | 1.7 (+2.1) かなり高い | 180.0 | (140) | かなり多い | 40.8 | (89) | やや少ない | 31 | 平年並 |
| 盛岡 | -0.3 (+2.2) かなり高い | 101.0 | (170) | かなり多い | 113.1 | (90) | やや少ない | 19 | やや少ない |
| 宮古 | 1.8 (+1.8) かなり高い | 81.5 | (132) | やや多い | 151.2 | (93) | やや少ない | 14 | 平年並 |
| 大船渡 | 2.5 (+2.1) かなり高い | 81.5 | (178) | やや多い | 135.2 | (88) | やや少ない | 7 | 平年並 |
| 山形 | 1.5 (+2.4) かなり高い | 72.5 | (84) | 平年並 | 74.0 | (84) | やや少ない | 28 | 平年並 |
| 新庄 | 0.5 (+1.5) --- | 224.5 | (119) | --- | 51.7 | (128) | --- | 56 | --- |
| 酒田 | 3.3 (+2.1) --- | 224.0 | (152) | --- | 35.7 | (82) | --- | 22 | --- |
| 仙台 | 3.6 (+2.6) かなり高い | 44.5 | (108) | 平年並 | 148.7 | (100) | 平年並 | 6 | やや少ない |
| 石巻 | 2.5 (+2.2) かなり高い | 51.5 | (131) | やや多い | 154.3 | (93) | 平年並 | 2 | やや少ない |
| 福島 | 3.5 (+2.4) かなり高い | 59.5 | (133) | やや多い | 143.0 | (104) | 平年並 | 13 | 平年並 |
| 白河 | 2.3 (+2.5) かなり高い | 60.5 | (***) | --- | 164.0 | (100) | 平年並 | 6 | --- |
| 小名浜 | 5.7 (+2.6) かなり高い | 62.0 | (138) | やや多い | 177.9 | (94) | やや少ない | - | 平年並 |
| 若松 | 1.5 (+2.7) かなり高い | 70.5 | (69) | 平年並 | 78.5 | (98) | 平年並 | 23 | やや少ない |

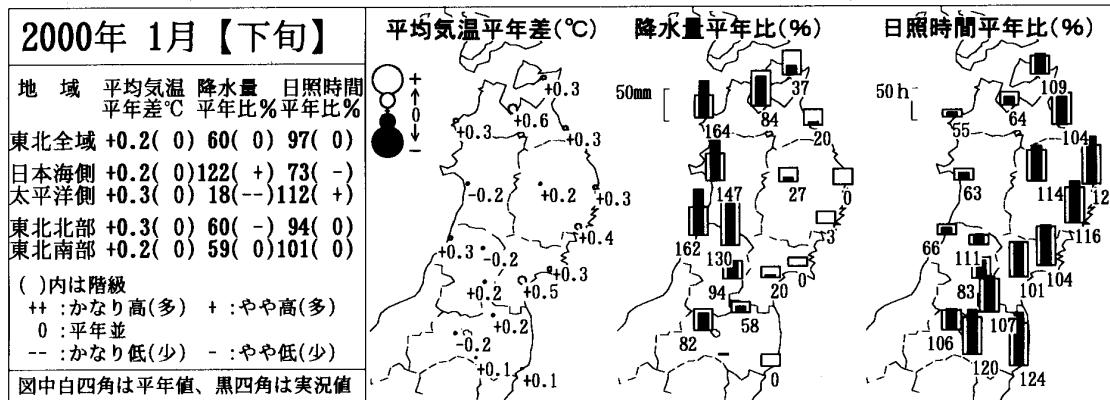
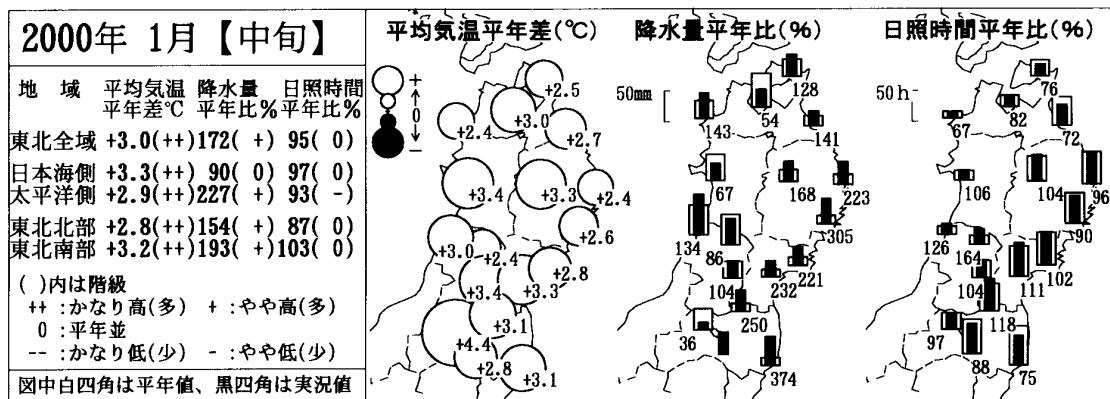
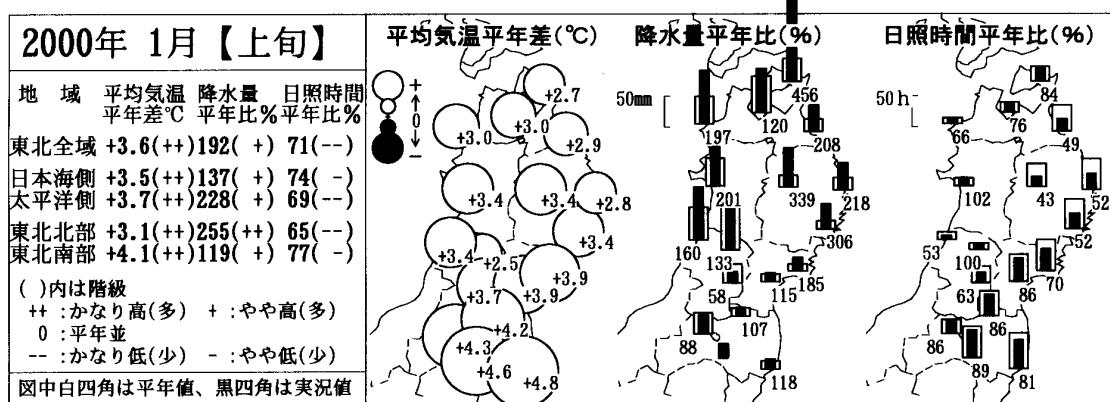
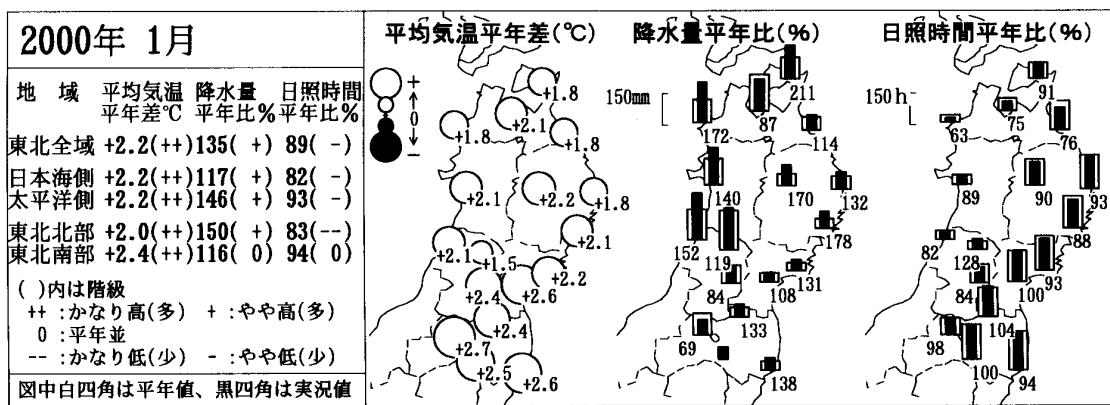
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971 ~ 1990 年)、新庄は累年平均値(1986 ~ 1996 年)との差(比)を示す)

階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961 ~ 90 年の 30 年間に於いて出現した値を小さいほうから、10% (3 個)、20% (6 個)、40% (12 個)、20% (6 個)、10% (3 個) に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図1. 2000年1月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1961~'90年。但し酒田は準平年値(1971~'90年)、新庄は累年平均値(1986~'96年)を使用。白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので実況値を表す黒四角のみ表示する。